

景況の回復は足踏み。依然として残る事業継続への不安

6月の情報連絡員報告によると前年比の景況DIは製造業・非製造業ともマイナス70台の後半であり依然厳しい状況を示している。

前月は景況の底入れを感じさせる報告が散見されたが、今月はふたたび倒産・廃業を伝える声が多くよせられている。

エコカー減税やエコポイント制度等の景気対策も、残念ながらその効果を明確に表わすには至っていない。

【製造業64人、非製造業86人、計150人の集計】

各項目のDIの動き (前年同月比)

	全 体	製 造 業	非製造業
売 上 高	😞	😞	😞
在 庫 数 量	😊	😞	😊
販 売 価 格	😞	😞	😞
取 引 条 件	😞	😞	😞
収 益 状 況	😞	😞	😞
資 金 繰 り	😞	😞	😞
設 備 操 業 度	😞	😞	—
雇 用 人 員	😞	😞	😞
業 界 の 景 況	😞	😞	😞

- 😊 …増加、上昇、好転
- 😐 …不変
- 😞 …減少、低下、悪化

✓ 行政庁・中央会に対する主な要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	主な要望事項
その他	スポーツ用品製造業	スポーツ庁の創設を希望する。スポーツ行政を一元化し、基盤強化することで、スポーツ振興をより積極的に進めて頂きたい。
小 売	二輪車小売業	全国オートバイ協同組合連合会は自民党オートバイ議連總會において、2輪ETC助成数の増大、駐車違反取り締まりの緩和等を要望した。
サービス	複写業	最近の入札制度は価格本位で落札者を決定している。零細企業では大企業に価格面で勝つことが出来ない。きめの細かい入札制度を導入し、中小企業の参入余地を残してほしい。
建 設	管工事業	新銀行東京の公共工事代金債権信託（工事完成前に工事請負代金を現金化できる。）は良い制度である。組合も機関誌等を通じ積極的にPRしている。東京都に習い各区も本制度への対応を検討してほしい。

平成21年
6月

業 界 の 声

製 造 業

集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等
食 料 品	中華麺製造業	5月の連休明け以降、動きが悪い。
	製粉業	政府が検討している輸入麦の政府売渡ルールの変更の実施時期は1年先送りとなる模様。中小製粉業者には対応が困難な制度改定であるため、7月にまとまる政府検討委員会の報告書の内容を注視している。
繊維・同製品	ネクタイ製造業	父の日商戦も苦戦。売上は前年比70%である。
	帽子製造業	若い女性の間では「麦わら帽子」「カンカン帽」が流行している。パナマ帽については2万円以上する品も売れており、メーカー、問屋とも完売状態で、マスクミの取材申込が相次いでいる。
	帆布製品製造業	当業界の老舗問屋が今月で廃業することになり、業界はその対応に追われている。例年6月は上半期で最も売上を計上できる月であるが、状況はさらに悪化している。組合は昨年度も赤字決算となり、事業運営もマイナス指向になりがちである。
	洋服製造業	今年1月からほとんど仕事がない。各社とも廃業寸前である。業界向けの景気対策を至急講じてほしい。
	ニット製品製造業	量販店の安価な製品が脚光を浴びる一方、伝統と品質に責任を持つ国産ニット製品が見向きもされていない。
紙・紙加工品	紙製品製造業	前年同期は原材料価格高騰の影響で非常に厳しい状況にあったため、本年の景況を前年と比べれば落ち着いた状況といえる。今後開催される展示会等が需要喚起につながることを期待している。
印 刷	印 刷 業	5月～6月の売上は低水準で推移。小企業ほど落ち込み幅が大きい。
化学ゴム	塗料製造業	前年割れの状況が続いている。
	プラスチック製品製造業	季節商品の需要を除いて、前月に続き売上は低調。受注量は前年比50%程度。一部商品には値下げ要請が現れている。
窯業・土石製品	ゴム製品製造業	景況は底を打ったようである。しかしながら強い回復傾向には至っていない。
	コンクリート製品製造業	共同購買事業の6月実績は前年比94%。6月末の廃業による脱退組合員は3社。前年比の売上高は減少しており、収益状況、資金繰りは悪化の一途である。
鉄鋼・金属	生コンクリート製造業	建設工事の中止や延期が相次いでいることが受注減少の一因になっている。
	金属熱処理業	先月同様、売上は、やや回復傾向が見られるが、自動車生産の先行きが不透明なことから極めて状況は不安定である。さらに建材の状況は最悪。
	鋳物製造業	受注量が回復しない。雇用調整に入った企業も増加している。
	鍍金加工業	長期の受注低迷で破産した事業者が発生した。廃業者も続出している。雇用調整が長期化し、不安が増す中で事業者の意識が低下している。後継者も流失しており事業継続が懸念される。
	製 缶 業	本年2月の最悪期を経て売上の減少幅は縮小しつつあるものの、依然、前年比12～13%減少で推移。
	建築金物製造業	売上の低迷が続いている。
	ダイカスト製品製造業	5月末に中堅のダイカスト業者が倒産した。他の組合員にも、自らの事業継続が可能であるか懸念が広まっている。
一般機械	精密工具製造業	厳しい状況に変わりはないが、組合員の1社は、わずかながら増産しているとの報告を得た。
	写真製版機材製造業	写真材料の売上は前年比で微減であるが、収益状況は悪化。機械類の売上は大幅に悪化している。
その他の製造	塗 装 業	各組合員とも受注量が減少。今年に入って3社の組合脱退の申し出があり。組合収入にも大きな影響が出ている。
	ガス圧接業	稼働率は組合員間にバラツキがあるものの、全体的には低迷している。受注単価は下落を続け、収益率は大幅に悪化。資金繰りに精一杯であり利益どころではない。
	鉛筆製造業	組合員企業の中にも生産調整、雇用調整を行う事業所が増えてきた。

平成21年
4月

業 界 の 声

非 製 造 業		
集計上の 分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等
卸 売	洋食器卸売業	飲食店からの注文は低価格品が多く、数量も最低単位となっている。売上高はますます低下している。
	再生資源卸売業	中国市場が回復しつつあるため、再生資源の市況もやや持ち直している。夏場を迎え飲料容器の処理が増大するため、パートの募集を行うと、大量の応募がある。雇用（求職）状況の悪化を示している。
	電線卸売業	4月の銅電線の出荷量は5万2千トン（前年比26%減）、5月の予想は4万5千トン（前年比31.4%減）となっており、1975年以来の数字である。
	家具卸売業	家具業界はそれぞれの業界団体の枠組みを超え、産業全体が一つになって廉価な輸入品の扱いを見直し、国産家具の復権に力を入れるべきである。
	食料品卸売業	新型インフルエンザ患者の発生等により臨時休校する学校が出た場合、納入予定の給食用食材の発注取り消しが簡単に行われる。日持ちのしない食材は廃棄せざるを得ないが、量が膨大なため損害額が大きい。損害分の学校の負担を求めているが進展しない。学校給食の現場では中国産食材も認められないなど、通常の納入先と比べハードルが高い。
	理容用品卸売業	業界の構造的問題として、理容師が高齢化しているとともに、若年者の理容師志願者が減少していることから、今後、都内の理容業界が縮小することが予想される。このため東京都は生活安定化総合対策事業の一環として「理容師資格取得促進事業」を立ち上げ、理容師の増大策を講ずることとなった。我が業界にとって朗報であり、成果が期待される。
	美容用品卸売業	景況の先行きは不透明であるが、業績好調な地方企業が都内に進出し組合に加入するとともに組合運営にも協力的なことが明るい話題となっている。
	紙卸売業	前年同期にはメーカーの値上げ前の駆け込み需要があったが、その反動で6月の売上は前年比40%ダウンとなった。
	玩具卸売業	相変わらず景況是最悪。7月中旬に開催される「東京おもちゃショー（於 東京ビックサイト）」がこの状況を打破する起爆剤となることを期待したい。
	食品卸売業	スーパー、百貨店、コンビニ、専門店等、あらゆる小売り業態に商品価格の値下げ機運が高まっている。プライベートブランド商品の開発も価格低下の動きを加速している。
	木材卸売業	荷動きが悪く好転の兆しがない。
ニット製品卸売業	経営危機に陥っている組合員企業が増加。それに伴い組合の脱退件数も増えている。	
小 売	機械工具小売業	景気の下げ止まり実感は得られない。
	木材小売業	需要に若干の動きが出て来ているが、悪化状況は続いている。
	古書籍小売業	本年度は現在までに4人の組合員が組合を脱退。景況は底打ち感があるものの予断を許さない。
	豆腐小売業	廃業者が5人発生。総組合員数は804人となった。組合内部の各検討委員会で組織の活性化策を探っていく予定。
	文具小売業	景況は好転せず。なお、当業界では7月8日～10日に東京ビックサイトで開催する国際文具フェアを皮切りに問屋等の見本市や、メーカーの新製品発表会が相次いで行われる。需要喚起を期待したい。
	包装材料小売業	原紙価格は大きな値動きもなく、古紙価格も弱含みである。化成品も大幅に下がっており、包装材料全体の価格が下がっているが、需要は低迷している。
	電器製品小売業	ボーナス需要が伸び悩んでいる。エコポイント導入後も液晶テレビの需要は今一步。エアコン・冷蔵庫の売上は伸びている。最寄品（電子レンジ、炊飯器等）は売上低下。現在、地域販売店はエコポイントのサポート販売店登録をはじめ、制度への対応に苦慮している。
	中古自動車小売業	高級中古車の顧客が、手厚い助成措置のある環境対応車を購入しているため、中古車販売は減少している。
	衣料品小売業	夏の陽気にもかかわらず、夏物衣料全般の売上が伸びない。

小 売	酒小売業	組合員の廃業が増加。これ以上酒類販売免許が付与され販売店を増やす必要があるとは考えられない。
	ペット小売業	6月も売上は伸びなかった。梅雨に入り、湿気のためペットの健康管理に気を遣う季節である。
	青果小売業	季節商品のさくらんぼ、梅等が昨年同期よりかなり安値になっている。消費者にこうした情報を伝え販売促進につなげる必要がある。
	食鳥鶏卵小売業	業務用を中心として売上が減少。組合員の廃業が発生している。
	家具小売業	当業界には景気の上向き実感はない。
商 店 街	秋葉原	エコポイント制度によりテレビの販売は上向くも、販売単価が低下している。その他の商品が伸び悩んだため、売上高は前年実績に届かなかった。
	目 黒	各項目とも良い点が見つからない。夏の需要増を期待している。
	赤 坂	以前と異なり、午後11時を過ぎると閑散となるため、治安の悪化が懸念される。
サ ー ビ ス	廃棄物処理業	廃棄物処理量は10%強、減少している。処理料の単価引き下げ要求が強く、価格維持が厳しい。再生資源物の市場価格は若干上向いている。
	自動車整備業	エコカー減税で新車が売れると整備業務は減少する。
	クリーニング業	市場の縮小により大手クリーニング機械メーカーの撤退、老舗クリーニング包装資材製造業者の倒産等が相次ぎ、業界の状況の深刻さがうかがえる。跡継ぎのある組合員にとっては将来像を描くことが出来ず非常に厳しい。
	複 写 業	売上は若干増加したものの、販売価格の低下により利益が相殺される現象が見られ、忙しくても儲からない構図が続いている。受注獲得競争による価格の低下には目に余るものがあり、業界全体の体質改善を阻んでいる。
運 送	貨物自動車運送業	鉄鋼関係（自動車、公共事業関連）には一部「底入れ」の感が出始めているが、回復にはほど遠い。建設関係など全般的に厳しい状況にある。
	港湾運送業	当業界では業者間で仕事を調整するなど、協力体制を敷くことで、不況に対処している。
建 設	建具工事業	細かな物件が中心であるが、受注の動きが出始めている。しかし安定した受注状況にはほど遠く、また、相変わらず資金繰りも厳しい。長期優良住宅制度（認定されることにより融資の支援や税の優遇措置が受けられる。）の進展により住宅着工件数が増加することを期待している。